



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カインズ  
コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上地史朗  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 林司  
定時株主総会開催予定日 2019年6月20日 配当支払開始予定日 2019年6月21日  
有価証券報告書提出予定日 2019年6月21日

TEL 03-3816-4123

2019年6月21日

決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	4,670	6.5	581	27.4	596	25.0	385	38.9
2018年3月期	4,386	△6.7	456	△3.9	477	2.0	277	△10.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	98.57	—	10.3	9.9	12.4
2018年3月期	66.49	—	7.4	8.0	10.4

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 一百万円 2018年3月期 一百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	5,858	3,635	62.1	985.41
2018年3月期	6,145	3,854	62.7	922.23

(参考) 自己資本 2019年3月期 3,635百万円 2018年3月期 3,854百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	425	△19	△647	612
2018年3月期	337	△265	△77	856

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50	55	18.8	1.5
2019年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	59	15.2	1.6
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00		15.0	

(注)配当金総額には、「資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式に対する配当金(2018年3月期 3百万円、2019年3月期 4百万円)が含まれております。

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,400	6.4	250	△18.6	250	△23.0	180	△18.0	48.79
通期	5,000	7.0	550	△5.4	550	△7.8	380	△1.5	103.00

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	4,558,860 株	2018年3月期	4,558,860 株
② 期末自己株式数	2019年3月期	869,656 株	2018年3月期	378,810 株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	3,915,752 株	2018年3月期	4,180,050 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P、2「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

添付資料の目次

	頁
1 経営成績等の概況 .....	1
(1) 当期の経営成績の概況 .....	1
(2) 当期の財政状態の概況 .....	1
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	1
(4) 今後の見通し .....	2
2 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	2
3 財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 貸借対照表 .....	3
(2) 損益計算書 .....	5
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国の経済は、設備投資及び個人消費の底堅い推移などに支えられ緩やかな景気回復が続く一方、米中の通商摩擦、英国のEU離脱に伴う欧州の経済減速などが懸念されております。

臨床検査薬業界では、市場規模は横ばいから微増で推移しておりますが、医療費抑制政策に伴う各医療機関の経営環境の悪化も予想されています。

このような環境の下、当事業年度における売上高は、46億7千万円（前年同期比6.5%増）となりました。検査分野別で見ると、生化学検査分野は、カルニチンをはじめ主力の腎機能検査試薬などが堅調に推移し、20億6千2百万円（前年同期比13.3%増）、免疫検査分野は、輸血検査試薬が伸長し24億3千8百万円（前年同期比2.1%増）となりました。また、その他の分野におきましては、1億6千9百万円（前年同期比4.6%減）となりました。また、営業利益は、5億8千1百万円（前年同期比27.4%増）、経常利益は、5億9千6百万円（前年同期比25.0%増）、当期純利益は、3億8千5百万円（前年同期比38.9%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における総資産の額は、58億5千8百万円となり、前事業年度末と比べ2億8千6百万円の減少となりました。流動資産は28億3千万円となり、前事業年度末と比べ2億1千1百万円の減少となりました。その主な要因は、たな卸資産が1億4千3百万円増加したものの、現金及び預金が2億4千3百万円、有価証券が9千9百万円それぞれ減少したことによります。固定資産は30億2千8百万円となり、前事業年度末と比べ7千5百万円の減少となりました。その主な要因は、固定資産の取得により3千万円増加したものの、減価償却費の進捗1億3千4百万円が減少したことによります。

当事業年度末における負債の額は、22億2千3百万円となり、前事業年度末と比べ6千7百万円の減少となりました。その主な要因は、未払金が4千5百万円、未払費用が4千1百万円それぞれ増加したものの、買掛金が1億3百万円、短期借入金5千万円、減少したことによります。

当事業年度末における純資産の額は36億3千5百万円となり、前事業年度末と比べ2億1千9百万円の減少となりました。その主な要因は、自己株式の取得5億4千1百万円、配当金の支払い5千5百万円を行った一方、当期純利益3億8千5百万円を計上したことによります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当事業年度の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前事業年度末の数値で比較を行っております。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

#### キャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は6億1千2百万円となり、前事業年度末と比べ2億4千3百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動は4億2千5百万円の資金の増加（前年同期は3億3千7百万円の増加）となりました。その主な資金の増加要因は、たな卸資産の増加1億5千7百万円、仕入債務の減少8千3百万円、法人税等の支払額1億7千4百万円などにより支出したものの、その一方で、税引前当期純利益5億9千万円、減価償却費1億3千4百万円などにより増加したものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動は1千9百万円の資金の支出（前年同期は2億6千5百万円の支出）となりました。その主な資金の支出要因は、有価証券の償還により1億円増加したものの、製造設備やソフトウェアを中心とした固定資産の取得1億2千7百万円などの支出によります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動は6億4千7百万円の資金の支出（前年同期は7千7百万円の支出）となりました。その主な資金の支出要因は、自己株式の取得5億4千1百万円、配当金の支払い5千5百万円などによります。

なお、当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	第 41 期 2016年 3 月期	第 42 期 2017年 3 月期	第 43 期 2018年 3 月期	第 44 期 2019年 3 月期
自己資本比率 (%)	56.7	62.8	62.7	62.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	34.8	50.0	47.7	61.9
キャッシュ・フロー有利子負債比率	3.9	2.7	3.0	2.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	21.1	31.7	36.2	47.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式を除く)により算出しております。

(注3) 営業キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについてはキャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

臨床検査薬業界におきましては、市場規模は微増で推移するも、医療費抑制政策が継続され、医療制度改革のもと市場環境は厳しさを増していくものと思われまます。

当社では、引き続き総／遊離カルニチン測定やADAMTS13活性測定の医療現場への浸透をはじめ、多項目キャリアブレーター「マルチ9」を活用した腎機能・肝機能検査試薬を中心とする生化学検査試薬、並びに全自動検査輸血機器Erytra Eflexisを始めとした輸血検査関連製品（ゲルカラム用全自動及び半自動輸血検査機器並びに専用試薬）の積極的な拡販に注力してまいります。

なお、次期の見通しにつきましては、売上高につきましては、50億円（前年同期比7.0%増）、営業利益につきましては、5億5千万円（前年同期比5.4%減）、経常利益につきましては、5億5千万円（前年同期比7.8%減）、当期純利益につきましては、3億8千万円（前年同期比1.5%減）と予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性等を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

### 3. 財務諸表及び主な注記

#### (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,196,467	952,763
受取手形	275,330	238,138
売掛金	941,341	976,536
有価証券	99,998	—
商品及び製品	254,913	377,952
仕掛品	50,686	63,277
原材料及び貯蔵品	187,025	194,908
前払費用	9,887	9,478
その他	25,912	17,377
流動資産合計	3,041,563	2,830,433
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,895,097	1,899,377
減価償却累計額	△1,263,097	△1,294,051
建物（純額）	632,000	605,325
構築物	94,109	94,109
減価償却累計額	△72,351	△74,766
構築物（純額）	21,758	19,342
機械及び装置	292,047	291,626
減価償却累計額	△227,566	△245,990
機械及び装置（純額）	64,481	45,636
工具、器具及び備品	355,303	342,787
減価償却累計額	△333,242	△294,462
工具、器具及び備品（純額）	22,060	48,324
土地	1,797,439	1,797,439
リース資産	83,854	77,957
減価償却累計額	△31,155	△42,076
リース資産（純額）	52,699	35,880
建設仮勘定	30,950	20,000
有形固定資産合計	2,621,389	2,571,949
無形固定資産		
ソフトウェア	2,276	114,302
電話加入権	4,613	4,613
ソフトウェア仮勘定	141,655	59,420
無形固定資産合計	148,545	178,335
投資その他の資産		
投資有価証券	189,643	166,912
出資金	100	100
差入保証金	19,435	19,165
繰延税金資産	124,007	91,292
その他	490	372
投資その他の資産合計	333,676	277,844
固定資産合計	3,103,611	3,028,128
資産合計	6,145,174	5,858,562

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	32,119	36,533
買掛金	508,475	405,326
短期借入金	400,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	300,000	100,000
リース債務	18,567	15,703
未払金	331,702	376,757
未払法人税等	107,969	104,190
未払消費税等	27,265	33,162
未払費用	67,618	108,819
前受金	2,320	1,597
預り金	13,218	7,855
賞与引当金	115,549	119,775
その他	—	264
流動負債合計	1,924,806	1,659,986
固定負債		
長期借入金	300,000	500,000
リース債務	42,216	34,816
長期預り保証金	10,902	10,902
長期未払金	4,900	4,900
株式給付引当金	1,752	3,153
役員株式給付引当金	5,637	9,406
固定負債合計	365,408	563,179
負債合計	2,290,214	2,223,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金		
資本準備金	928,733	928,733
資本剰余金合計	928,733	928,733
利益剰余金		
利益準備金	193,125	193,125
その他利益剰余金		
別途積立金	261,000	261,000
繰越利益剰余金	1,813,658	2,143,893
利益剰余金合計	2,267,783	2,598,018
自己株式	△223,303	△764,706
株主資本合計	3,804,627	3,593,459
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	50,332	41,937
評価・換算差額等合計	50,332	41,937
純資産合計	3,854,959	3,635,396
負債純資産合計	6,145,174	5,858,562

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高		
製品売上高	2,992,903	3,393,569
商品売上高	1,393,796	1,277,210
売上高合計	4,386,699	4,670,779
売上原価		
製品売上原価		
製品期首たな卸高	203,170	220,710
当期製品製造原価	1,251,281	1,488,905
合計	1,454,451	1,709,616
製品他勘定振替高	35,245	61,544
製品期末たな卸高	185,465	271,725
製品売上原価	1,233,741	1,376,346
商品売上原価		
商品期首たな卸高	51,094	93,562
当期商品仕入高	1,173,046	1,062,882
合計	1,224,140	1,156,445
商品他勘定振替高	24,113	34,199
商品期末たな卸高	69,448	106,227
商品売上原価	1,130,578	1,016,019
売上原価合計	2,364,319	2,392,365
売上総利益	2,022,380	2,278,413
販売費及び一般管理費		
販売促進費	32,529	27,421
広告宣伝費	10,528	19,795
配送費	53,269	61,988
通信費	19,179	18,779
旅費及び交通費	120,930	122,554
交際費	9,673	10,394
貸倒引当金繰入額	△2,900	—
役員報酬	143,388	148,672
従業員給料	405,115	414,265
従業員賞与	67,451	125,384
賞与引当金繰入額	90,686	82,441
法定福利費	100,214	109,904
福利厚生費	20,239	17,534
水道光熱費	15,234	15,194
修繕費	2,983	15,165
地代家賃	33,985	33,754
減価償却費	44,920	44,377
保険料	8,006	7,780
租税公課	8,939	9,328
研究開発費	183,591	203,838
消耗品費	30,380	39,114
賃借料	23,012	21,997
退職給付費用	19,022	19,740
株式給付引当金繰入額	1,752	1,401
役員株式給付引当金繰入額	5,637	4,956
支払手数料	60,516	59,142
その他	57,722	62,247
販売費及び一般管理費合計	1,566,010	1,697,176
営業利益	456,369	581,236



(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業外収益		
受取利息	68	73
受取配当金	5,508	5,438
為替差益	20,346	8,177
仕入割引	907	676
業務受託料	949	—
受取補償金	—	3,895
その他	3,762	9,047
営業外収益合計	31,543	27,309
営業外費用		
支払利息	9,308	8,831
手形売却損	693	647
売上割引	700	784
その他	—	1,533
営業外費用合計	10,703	11,796
経常利益	477,209	596,749
特別利益		
固定資産売却益	—	345
特別利益合計	—	345
特別損失		
固定資産売却損	—	5,128
固定資産除却損	24,357	1,913
減損損失	68,368	—
その他	5,250	—
特別損失合計	97,976	7,042
税引前当期純利益	379,233	590,052
法人税、住民税及び事業税	163,404	170,791
法人税等調整額	△62,100	33,300
法人税等合計	101,304	204,091
当期純利益	277,929	385,960

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備 金	その他利益剰余金		利益剰余 金合計			
		資本準備 金	資本剰余 金合計		別途積立 金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	831,413	928,733	928,733	193,125	261,000	1,591,455	2,045,580	△223,303	3,582,423	
当期変動額										
剰余金の配当						△55,725	△55,725		△55,725	
当期純利益						277,929	277,929		277,929	
自己株式の取得									—	
自己株式の処分									—	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	222,203	222,203	—	222,203	
当期末残高	831,413	928,733	928,733	193,125	261,000	1,813,658	2,267,783	△223,303	3,804,627	

	評価・換算差額等		純資産合 計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	60,561	60,561	3,642,984
当期変動額			
剰余金の配当			△55,725
当期純利益			277,929
自己株式の取得			—
自己株式の処分			—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△10,228	△10,228	△10,228
当期変動額合計	△10,228	△10,228	211,974
当期末残高	50,332	50,332	3,854,959

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			利益剰余 金合計			
		資本準備 金	資本剰余 金合計	利益準備 金	その他利益剰余金					
					別途積立 金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	831,413	928,733	928,733	193,125	261,000	1,813,658	2,267,783	△223,303	3,804,627	
当期変動額										
剰余金の配当						△55,725	△55,725		△55,725	
当期純利益						385,960	385,960		385,960	
自己株式の取得								△541,402	△541,402	
自己株式の処分										
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）										
当期変動額合計						330,235	330,235	△541,402	△211,167	
当期末残高	831,413	928,733	928,733	193,125	261,000	2,143,893	2,598,018	△764,706	3,593,459	

	評価・換算差額等		純資産合 計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	50,332	50,332	3,854,959
当期変動額			
剰余金の配当			△55,725
当期純利益			385,960
自己株式の取得			△541,402
自己株式の処分			
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△8,395	△8,395	△8,395
当期変動額合計	△8,395	△8,395	△219,563
当期末残高	41,937	41,937	3,635,396

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	379,233	590,052
減価償却費	110,219	134,009
減損損失	68,368	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△531	4,226
受取利息及び受取配当金	△5,576	△5,512
支払利息	9,308	8,831
為替差損益 (△は益)	△20,346	1,279
固定資産除却損	24,357	1,913
売上債権の増減額 (△は増加)	△154,912	1,997
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△32,192	△157,687
仕入債務の増減額 (△は減少)	35,494	△83,961
その他	53,637	108,178
小計	467,060	603,326
利息及び配当金の受取額	5,601	5,828
利息の支払額	△9,328	△8,883
法人税等の支払額	△125,449	△174,871
営業活動によるキャッシュ・フロー	337,884	425,399
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
貸付金の回収による収入	124	—
有価証券の取得による支出	△99,998	—
有価証券の償還による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△56,551	△68,262
無形固定資産の取得による支出	△114,701	△58,748
その他	5,200	7,148
投資活動によるキャッシュ・フロー	△265,926	△19,863
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△50,000
長期借入れによる収入	200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	△300,000
自己株式の取得による支出	—	△541,402
リース債務の返済による支出	△21,207	△16,350
配当金の支払額	△56,115	△55,928
その他	—	15,722
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77,322	△647,959
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△1,279
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,371	△243,703
現金及び現金同等物の期首残高	861,838	856,467
現金及び現金同等物の期末残高	856,467	612,763

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、臨床検査薬の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	922円23銭	985円41銭
1株当たり当期純利益金額	66円49銭	98円57銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。
- 1株当たり当期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、当事業年度278,000株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、当事業年度278,000株であります。
3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	277,929	385,960
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	277,929	385,960
期中平均株式数(千株)	4,180	3,915

(重要な後発事象)

該当事項はありません。